

## 特集にあたって(特集 ブラジル)

著者	近田 亮平
権利	Copyrights 日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a>
雑誌名	ラテンアメリカレポート
巻	25
号	1
ページ	2-2
発行年	2008-05-20
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2344/00006003">http://hdl.handle.net/2344/00006003</a>

# 特集

## ブラジル

### 特集にあたって

ブラジルへ最初の日本移民が渡ったのは1908年で、今からちょうど100年前になる。移民100周年を記念するさまざまなイベントが、政府や日系社会のほか多くの地方自治体や民間・市民団体などにより、ブラジルと日本の双方で開催されている。一方、未来に向かって両国の結びつきを強めるこ

とを目的に、2008年は政府レベルにおいて「日本ブラジル交流年」と位置づけられている。本特集は両国間の交流の活性化に寄与すべく、「Brasis」（「ブラジル」の複数形）と形容されるほど多様なブラジルの中から、貧困、農業、労働に関する三つの“ブラジル”を紹介する。

近田亮平



「日本ブラジル交流年」のイメージ・キャラクターを発表するルーラ大統領（右）。左側はその考案者。（2008年1月17日）